

**JJA
JEWELLERY
DESIGN
AWARDS
2013**



日本ジュエリーの最高峰を求めて
JJA ジュエリーデザインアワード2013

時を超え人々の心を魅了してやまないジュエリーの数々。

ジュエリーは、創作する人の感性と装う人の感性が結びつき響き合うことによって生まれるアートと言えます。

真に美しい作品は国境を越え、人々の心に共感と感動を呼び起こします。欧米に比べ、ジュエリーの歴史が短いにも関わらず高い技術力・デザイン力を誇る我が国。固有の美しい文化と伝統を背景に未来を見つめた新しいジュエリーを求めていかなければなりません。

“JJA ジュエリーデザインアワード”は、日本ジュエリー文化の高揚を目的に「世界へ発信できる日本ジュエリーの最高峰を求めて」をテーマに毎年開催されています。

JJA ジュエリーデザインアワードでは、第1部門“プロフェッショナル部門”を、プロフェッショナルにふさわしく、時代をリードするデザイン・技術・品質を兼ね備えたジュエリーとし、第2部門“テーマ部門”では、テーマ規定に沿って、独創性豊かなデザイン、技術で表現されているジュエリーとしています。今年度は、当協会主催の“JJA ジュエリーつながり愛キャンペーン”に連動し、「つながり愛」をテーマとし、【恋人、夫婦、家族、友人等の「絆」の証としてのジュエリー】で、デザイナー独自の視点から自由な発想と独自性があるジュエリーとしています。また、第3部門“新人部門”では、新人・学生を対象に自由な発想を持った既成の概念を打ち破る新しい大胆な発想のジュエリーと位置づけています。

JJA ジュエリーデザインアワードは、未来のジュエリー業界を担う新しい可能性を持つクリエイターたちの優れた作品を発信する場として、世界に向けた日本のジュエリー文化のさらなる発展を求め続けます。

会期／会場 ○2013年8月27日～8月29日
ジャパンジュエリーフェア 2013 (JJF2013)
東京ビッグサイト 東2・3ホール
アワード入賞作品展示会場

[展示作品]

特別賞含む全入賞作品

○2013年9月13日～9月17日
香港ジュエリー&ジェムフェア
香港コンベンションアンドエキシビジョンセンター
ホール3 JJA 広報ブース

[展示作品]

上位5賞、第1部門・第2部門の優秀賞と佳作及び特別賞（日本ジュエリーデザイナー協会会長賞、日本真珠振興会会長賞、プラチナ・ギルド・インターナショナル賞）の13作品

○2013年10月20日～11月4日
箱根ラリック美術館
2階 企画展示室

[展示作品]

特別賞含む全入賞作品

主催 一般社団法人日本ジュエリー協会
後援 経済産業省
厚生労働省
東京都
協賛 公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会
一般社団法人日本真珠振興会
プラチナ・ギルド・インターナショナル

**JJA
JEWELLERY
DESIGN
AWARDS
2013**



ご挨拶



一般社団法人日本ジュエリー協会
会長

丸山 朝
Maruyama Hayashi

一般社団法人日本ジュエリー協会は、日本で最も広く認知され権威と格式のある日本最高峰のジュエリーコンテストを目指すとともに、世界に誇れる日本のジュエリーデザイン及び製作技術を発信する場とし、日本ジュエリー文化のさらなる高揚を目的として毎年「JJA ジュエリーデザインアワード」を開催しています。

本年は応募作品数が昨年対比150%となり、全国から非常に多くの秀逸な作品が応募されました。

アワードの意図に賛同し、ジュエリーに対する熱い想いで創作に励みご応募いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

この多くの作品の中より、公平かつ厳正な審査のもとで「日本ジュエリー大賞・経済産業大臣賞」「厚生労働大臣賞」「東京都知事賞」「日本ジュエリー協会会長賞」「新人大賞」をはじめとした各賞が選ばれました。

昨年に引き続き第1部門「プロフェッショナル部門」第2部門「テーマ部門“つながり愛”」第3部門「新人部門」でそれぞれ応募を募りましたが、各部門いずれもとても充実した内容となっており、将来の日本ジュエリー界への期待が高まる作品が多くみられました。

第1部門では、単品でありながらもセットジュエリーを凌ぐ魅力ある作品が多く見受けられ、第2部

門では“つながり愛”というテーマを深く理解して創作された応募作品が多く、協会が推進する“つながり愛”キャンペーンが業界に浸透していると感じました。また新人部門ではユニークで独創的な作品が多く、これからのジュエリー界を担う若い力が育っていると感じ、大変嬉しく思いました。

入賞した作品は、8月に東京ビッグサイトで開催されるJJF2013で授賞式と作品発表が行われ、ゲストとして2013ミス日本グランプリがファッションショーに登場し華を添えます。また、紅葉美しい秋には今年も箱根ラリック美術館での展示が行われ、多くの方に入賞作品をご覧いただきます。さらに、9月には世界的な宝飾展「香港ジュエリー&ジュエフェア」での展示も決定しており、“日本ジュエリーの最高峰を求めて”というアワードのテーマのもとに選ばれた上位入賞作品の一部が世界に向けて発信されます。

今回のジュエリーデザインアワードは応募数、内容ともに非常に充実したアワードとなりました。日本ジュエリー協会では今後もジュエリーデザインアワードを格式の高い権威のあるものにし、引き続き来年も広く参加を呼びかけ、さらにこのアワードを充実させ意義あるものに高めていけるよう努力して参りたいと思っております。

審査員講評



東京藝術大学 教授 工芸科彫金
飯野一郎
Iino Ichiro

4年ぶりにこの審査に臨みました。前回参加した2009年当時より部門も整理され、明快な主旨のもとで応募し易くなり、好ましい状況だと感じました。点数もこのような経済情勢にもかかわらず第1部門、新人部門は大きく増えており、出品者の意気込みを感じると共に将来に繋がってほしいと思います。

新人大賞まで上位5賞はそれぞれ特徴があり、見応えのある作品が選出されました。特に日本ジュエリー大賞になったリングはその力強さ、技術の確かさはもちろんですが全体のプレゼンテーションに魅力があります。技術賞、厚生労働大臣賞をあわせて受賞したネックレスは一つの形からの展開が素晴らしく、新しい提案を見せてくれています。

ジュエリーの協会、コンテストもいろいろありますが目指す所はそれぞれ違います。入賞入選作品はその会の明日への指標となるもので非常に重要な役割があります。今回の上位5賞は新たな指標になると確信しております。



山梨県立宝石美術専門学校 校長
青島みどり
Aoshima Midori

今年は例年と少し受賞作品が違っているというのが第一印象です。豪華または大振りの従来から見慣れたようなネックレスなどが上位を占めるのが通例のようになっていましたが、今年はシンプルな作品が選ばれており、技術も手作りだけでなくCADを使った作品も同等に評価され選ばれています。技術が進化すればデザインも進化する、またデザインが進化すれば技術も進化するというそういう時代になってきたのかな？と感じており、さらに新しいチャレンジに期待するところです。新人部門も単にジュエリーを作るというだけでなく、世代の考え方が伝わってきましたのでデザインの概念の幅の広さを感じさせられました。ただに多様化している消費者のジュエリー観に敏感に反応し、リードしていくような作品がこれから出てくるのが楽しみです。



ジュエリーデザイナー
池田啓子
Ikeda Keiko

今年度の出品作品は、三部門共にデザイン、技術、着想に元気で楽しいものが多かったと思います。特に第一部門の『プロフェッショナル部門』に目につくものが多く見受けられました。第二部門は『テーマ』があるために少し理屈が勝って、楽しくない方向に行ったかなと思いやや残念な感じでした。第三部門の『新人部門』はもっともっと大胆に楽しく、作り手の気持ちの出ているものを見たかったような気がします。

ジュエリーの一番のポイントはネックレスと考えています。日本人としての自信をもって、デザイン・技術をより深く掘り下げ、よりこだわってジャパンプランドのレベルを高めていきたいといつも感じています。

物語性があり、楽しい遊びごころがあり、身に付けてその人を美しく引き立てるジュエリーが優れていると思います。JJA デザインアワードの発展を心より願っております。

審査員講評



デザインディレクター
桐山登士樹
Kiriya Toshiki

ジュエリーデザインアワード2013の応募作品からは、変化の兆しを感じる事が出来た。これまでの主流だった装うフォーマルジュエリーから日々の時間の中で自分を表現する躍動感のあるジュエリーへ、その新たな領域をデザイナーが求め、トライアルし始めている。

特に新人賞の分野では、チープな素材を「デザインの力」によって創出しようとするデザイナーの作品を数多く目にした。そうした作品には、高い評価を与えた。この業界が新たな飛躍をする為には、コンシューマーの固定概念を打ち破り、自ら積極的に提案するイノベティブなデザインが必要だと感じている。今回のアワードでベストだと評価した作品は、東京都知事賞に輝いたバングルである。異素材との融合、その間でキラリッと光る石（ダイヤモンド）、高いスキルとセンスを持つ作品だった。こうした繊細で品格のある作品に日本を強く感じるの、私だけではないだろう。



ジュエリークラフトマン
西田良洋
Nishida Yoshihiro

昨年よりデザイン・技術面でも数多くのレベルアップされた作品等々が出展されており、審査にあたり事細かく（ダイヤ・メレー穴窓・刻印）、技術はもとより、石留・磨き・仕上げなどバランス良く気遣いされているか、私なりにジャッジをさせて頂きました。今回は、全体的にアート感の強い作品がジュエリー製品より勝ったように思われます。

第1部門技術賞の選定は「フィッシング リング」の匠さに賞賛しました。第2部門では、「櫻〈嬰兒ー新しい命に〉」のK18地金（WG・YG・PG）の特性を理解され、繋ぎの所も良く考案され複雑な動きでも装着がそれなりでしたので軍配をあげました。

ジュエリーデザインアワードを通して各国のジュエリーに勝るとも劣らなくセンス良くデザイナー・技術者が育成されることを切望します。



一般社団法人日本ジュエリー協会 アワード実行委員会
ジュエリーデザイナー
松井久子
Matsui Hisako

JJA ジュエリーデザインアワード実行委員として、またジュエリーデザイナーの立場から、今回の審査感をメッセージしたいと思います。

まず昨年に比べて応募作品が増えたこと、そして全体的に作品レベルが高くなっていることは、大変喜ばしいことだと思います。近年ファッションのカジュアル化の時代を反映してか、ジュエリーも比較的シンプルなもの好まれる傾向にあります。そういう意味でも第1、第2部門上位入賞作品は、独自性、デザイン、技術とも、完成度の高い時流に合う作品かと思われます。しかし、レベルは高いが小ぶりです。まとまっている作品が多く、願わくは上記に付随した、プラス世界に向けての新鮮な躍動感を感じる作品を目指して、更なる飛躍を期待したいと思います。

第3部門新人大賞は、ダイナミックかつフォルムの美しさと、技術の確かさを感じる作品であり、また、他にも秀逸な作品も多々あり、これからの業界を担う若いデザイナーに夢を託したいと思います。



宝飾季刊誌ジュエリット 編集発行人
吉田さち子
Yoshida Sachiko

大賞を始め、入賞した作品には優れたものが多く、感心させられました。しかし今回入賞しなかった作品の中にも、それに匹敵するものも多くあり、むしろ感動させられたものもありました。個性が強すぎて理解されなかったもの、デザイン力はあるのに技術力が伴わないもの、メッセージやストーリー性は心を打つのに、それが作品として表現しきれていないもの等々、これらはすべて可能性を秘めた原石です。何かのきっかけで小さな花が大輪の花に変わる、そんな珠玉の集合体でした。いずれの作品にも応募された方々の熱い思いが伝わってきて、今は愛しさを感じるばかりです。私が編集発行していますJewelit(ジュエリット)では、本コンテストの企画意図に賛同して応募された方々の作品を、できればすべて紹介したいと考えています。そして読者に、このコンテストのレベルの高さ、デザイン力の素晴らしさ、技術力の高さを再確認して頂きたいと思っております。

審査員一覧（審査員長以下50音順）

審査員長	飯 野 一 朗	東京藝術大学 教授 工芸科彫金
審査員	青 島 み どり	山梨県立宝石美術専門学校 校長
	池 田 啓 子	ジュエリーデザイナー
	桐 山 登 士 樹	デザインディレクター
	西 田 良 洋	ジュエリークラフトマン
	松 井 久 子	一般社団法人日本ジュエリー協会 アワード実行委員会 ジュエリーデザイナー
	吉 田 さ ち 子	宝飾季刊誌ジュエリット 編集発行人
特別賞選定員	木 下 章	一般社団法人日本真珠振興会 参与
	菅 沼 知 行	公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会 会長
	ハンキンソン尚子	プラチナ・ギルド・インターナショナル 代表取締役社長

●応募作品・点数

第1部門	プロフェッショナル部門	34作品	44点
第2部門	テーマ部門「つながり愛」	39作品	45点
第3部門	新人部門	53作品	96点
		合計	126作品 185点

●入賞作品

38作品 59点



日本ジュエリー大賞・経済産業大臣賞

厚生労働大臣賞

東京都知事賞

日本ジュエリー協会会長賞

日本ジュエリー大賞・経済産業大臣賞



クリエイティブチーム
梶 武史 デザイナー
Kaji Takeshi

[製作者/応募者] 株式会社 カジ・インターナショナル
クリエイティブチーム

「STORY FROM THE UNIVERSE ～宇宙からの物語～」

宇宙から飛来した未知なる鉱物“隕石”〈メテオライト〉と地球から誕生したダイヤモンドの奇跡の出会いを一つの物語としてデザインした作品。

リングのセンターにはファンシーカットのダイヤモンドを使用し両サイドには隕石をセッティングしました。

リングの内側には透かし文様で〈LOVE FOR ALL〉のメッセージを入れています。
プラチナと隕石で作ったリングスタンドはリングと一体になるアーティスティックなオブジェとなるようデザインしました。

1979年 東京生まれ
2001年 GIA（米国宝石学会）G.G.（宝石学修了）称号取得
2005年 株式会社カジ・インターナショナル CREATIVE チーム
2009年 JJA ジュエリーデザインアワード2009
優秀賞、プラチナ・ギルド・インターナショナル賞
2010年 JJA ジュエリーコーディネーター2級取得
2011年 JJA ジュエリーデザインアワード2011
東京都知事賞、プラチナ・ギルド・インターナショナル賞

リング・リングオブジェセット/Pt900/ダイヤモンド/メテオライト



STORY FROM
THE UNIVERSE

厚生労働大臣賞 第2部門 技術賞



石川和代 デザイナー
Ishikawa Kazuyo

[製作者/応募者] 東京貴宝 株式会社

「櫻〈嬰兒—新しい命に〉」

古来から人は桜の下に集い、絆を深めてきました。「櫻」の中の嬰は、貝を綴った「首飾りのお守り」です。丈夫に美しくと新生女兒に与え、「みどりご」の意になりました。桜は命をつなげるシンボルでもあるのです。花卉で表されたつながりゆく命が筒状から満開になり、観る人の心に永遠に散らない桜が咲き続けます。筒状時には花器になります。

2001年 フェリス学院大学卒業
2002年 神戸パールアワード グランプリ
2004年 バレンツァ デザインコンテスト グランプリ
(イタリア)
2007年 アントワープ ダイヤモンドコンテスト 入賞
(ベルギー)



ネックレス/K18(PG・WG)・Silver/ダイヤモンド

東京都知事賞



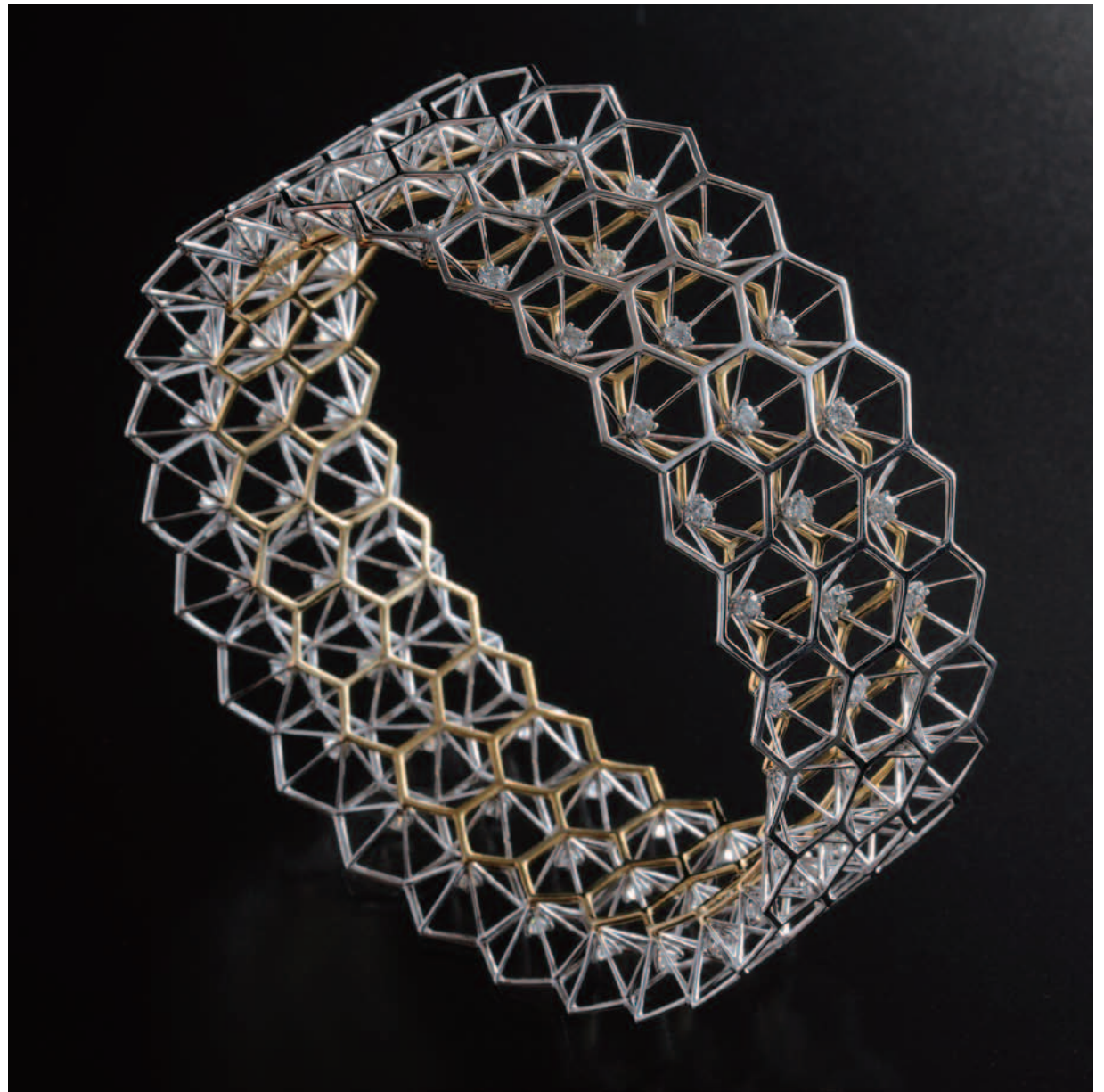
横田美和子 デザイナー
Yokota Miwako

〔製作者/応募者〕 株式会社 ジュノー

「Air」

“空気感”をテーマにデザインしました。肌に直接触れるパーツ（イエローゴールド）と、そこから浮き出たようなパーツ（ホワイトゴールド）の2層構造になっていて、我々アジア人の肌の上ではイエローゴールドが消え、ダイヤが浮いているように、感じられると思います。

1973年 東京生まれ
1997年 ヒコみづのジュエリーカレッジ卒業



バングル/K18(WG・YG)/ダイヤモンド

日本ジュエリー協会会長賞



若林佐代子 デザイナー
Wakabayashi Sayoko

〔製作者/応募者〕 東京貴宝 株式会社

「つながり愛」

つながり愛をテーマにした作品です。愛情を包み込むイメージを表現する為に、ダイヤを巻き込むデザインに仕上げ、贈る方へのあふれる思いをリングに込めました。つながる事でリング（輪）になる様に工夫して、つながる絆も意識しています。また広げた時には、ペンダントにもなるようにしました。

1976年 大阪芸術大学卒業
1990年 JJA ジュエリーコンテスト'90 会長賞・優秀賞
1991年 JJA ジュエリーコンテスト'91 労働大臣賞
1992年 JJA ジュエリーコンテスト'92 中小企業庁長官賞
1993年 93年度ダイヤモンドデザインコンテスト 入選
1995年 JJA ジュエリーコンテスト'95 東京都知事賞
2005年 JJA ジュエリーデザインアワード 入選
2006年 JJA ジュエリーデザインアワード 入選



リング＊ペンダントトップ/K18WG/ダイヤモンド



第1部門

プロフェッショナル部門

優秀賞 技術賞



内田岳志 デザイナー/製作者
Uchida Takeshi

[応募者] エンゼルリング

「フィッシング リング」

リングを左手人差し指にはめて、魚釣りごっこで楽しんでいただく事も出来るセットを目指しました。遊ばない時の為、ロッド部分の収納や歯車のロック機能を付け、また、修理等も出来るよう分解可能にしています。WAXやCADを使用せず、チェーン以外の全パーツ全工程を地金からの直接手造りで製作しました。

1974年 新潟県生まれ
1996年 (有)洗谷貴宝 入社
2000年 エンゼルリング 開業
2007年 第1回にいがた鋳・技まつり技能競技大会
東京貴金属技能士会 会長賞
2009年 第2回にいがた鋳・技まつり技能競技大会
日本ジュエリー協会 会長賞
2011年 第3回にいがた鋳・技まつり技能競技大会
全技連マイスターにいがた会 会長賞
2013年 第27回技能グランプリ 貴金属装身具部門 第3位



リング・ペンダントセット/K18・K18WG/ダイヤモンド・アクアマリン/サファイア・ルビー

佳作
日本真珠振興会会長賞



ネックレス /Pt850・Pt900・K18/ダイヤモンド/アコヤ真珠・白蝶貝

株式会社 桑山

Kuwayama Corporation

「華凛—KARIN—」

“慶事が重なるように”との意味で幾重にも重ねられた着物の襟からインスパイアされたネックレスです。

奈良時代から現代まで吉祥模様として親しまれている七宝をモチーフに取り入れました。曲線を描くバックシルエットからフロントへ伸びるラインが凛として輝く希望へ向かっていくイメージを表しています。

佳作



リング /K18WG/ダイヤモンド/パール

朝田夏樹 デザイナー /製作者

Asada Natsuki

[応募者] 株式会社 ミキモト装身具

「月夜を愛でる」

手のひらサイズの小宇宙を作ってみたいという思いから発想しました。

蟻ほどの小さな存在になって草木の茂みから月夜を眺めるというイメージで外側から順に草、虫、雲、月（真珠）を模した球体を配置しました。

その際、虫は飛び交っているだろう、雲も流れていくだろうということで、球体はそれぞれ回転するようになっています。

入選

プラチナ・ギルド・インターナショナル賞



ネックレス/Pt950/アクアマリン/ダイヤモンド

アトリエヒロウミ デザイン室 デザイナー

〔製作者〕 廣海貴晴

〔応募者〕 アトリエヒロウミ

〔E-mail〕 info@hiroumi-jewellery.com

「プラネット ネックレス」

青く美しい地球へのオマージュを込め、幼い頃に夢見た宇宙旅行の楽しい世界観を描き、天の川で繋ぎました。

入選



リング/Pt900・K18/ダイヤモンド

加藤弘子 デザイナー

Kato Hiroko

〔製作者〕 内田博紹

〔応募者〕 内田装身具製作所

「流星群」

空に輝く一等星（ダイヤ1.13ct）が瞬しい小さな星（メレダイヤ）を引導して夜空を流れる様を立体的に表現しました。



リング/K18WG・K18/ダイヤモンド

中村孝則 デザイナー/製作者

Nakamura Takanori

〔応募者〕 中村宝飾工芸

「森林と生き物」

大自然の奥地、森林の中、動物達が楽しく生きている様が浮かび、蝶達も群れて飛ぶ楽しい姿を表現しました。



リング/Pt900/ヒスイ/ダイヤモンド

小原祥子 デザイナー

Kohara Sachiko

〔製作者/応募者〕

株式会社 小原製作所

〔E-mail〕 kohara.yusan@gmail.com

「優美」

美しいヒスイの優美さを際たつ様にヒスイの留め方に工夫し、細部までダイヤモンドを入れ品格を持たせました。



リングシリーズ/K18・K18WG/水晶

藤森 隆 デザイナー

Fujimori Takashi

〔製作者〕 相馬試治

〔応募者〕 オーダーメイドジュエリー-ADAM

〔E-mail〕 info@adam.co.jp

「ヴォロンタ」

ユニークなフォルムが美しいルチルクオーツのフォルムを尊重するため、貴金属の張力を生かし、途切れないラインで石を包み込みました。

入選



ネックレス・イヤリングセット/K18(WG-PG)・Pt900・K14WG/アコヤ真珠/ダイヤモンド

中尾美穂 デザイナー

Nakao Miho

〔製作者/応募者〕

株式会社 ナガホリ

「さくら—SAKURA—」

桜と水紋の織りなす情景をあこや真珠をアクセントに繊細なディテールとダイナミックな奥行きで表現致しました。



ペンダント/K18・K18WG/ダイヤモンド・水晶/オニキス・アメシスト・黒蝶貝

保坂恭子

Hosaka Kyoko

〔E-mail〕 hosAka-KYo@isoftbank.jp

「ブラックホール」

カジュアルな装いに合う宝飾をテーマに、ブラックホールに吸い込まれて行く宝石を立体的に見える様にこだわりました。



ネックレス・ピアスセット/Pt900・K18WG/ダイヤモンド/アコヤ真珠

土橋秀位 デザイナー

Dobashi Hidetaka

〔製作者〕 瀧口 健

〔応募者〕 株式会社 クロスフォー

〔E-mail〕 info@crossfor.com

「ターキー」

ダイヤは常に動き続けるセッティング方法です。アコヤとのコラボレーションは、日本製としてのプライドを表しています。



ネックレス・リングセット/K18(YG・WG)/ダイヤモンド/オニキス・メノウ

川崎達彦 デザイナー/製作者

Kawasaki Tatsuhiko

〔応募者〕 株式会社 バルサーエンタープライズ

〔E-mail〕 pulsar-ent.8880@nifty.com

「Peace & Smile」

映画モダンタイムスのテーマ曲でチャップリン作曲のスマイルの楽譜をネックレスに載せました。メロディが聞こえて来ます。



第2部門

テーマ部門 「つながり愛」

優秀賞



清水範康 デザイナー/製作者
Shimizu Noriyasu

[応募者] 株式会社 ヤスエイ AFFLUX

[E-mail] shimizuno@k4.dion.ne.jp

「Fall in !! 集まれ」

黒く燻された銀の棒は人々の真っ直ぐで強い意志を象徴しています。あるものは自由に、あるものはしっかりと結びつく。バランスを保ちながらそれぞれが繋がることでカタチを作っています。変化しながら増殖していくイメージ。映画「2001年宇宙の旅」に登場するモノリスから着想を得ました。

1967年 福岡生まれ
1995年 PLATINUM DESIGN OF THE YEAR 1995
マスプロダクツ部門 入賞
2011年 伊丹国際クラフト展 入選
2013年 第6回宇和島パールデザインコンテスト 入選



プレスレット/Silver

佳作



ティアラ・ブローチセット/Silver/アコヤ真珠

鈴木まゆ子

Suzuki Mayuko

「幸せの二重奏」

二人の天使が手を取り、夢、希望を真珠に託し二人の元に舞い降り手を繋ぎ合い新婦のティアラに、もうひとつは新郎のブローチへと想いを形にかえ幸せを奏でます。ブローチはティアラの中心と同じ♡形になり2つで1対になっています。挙式後夫と妻、親と子で付けられつながり（絆）をより深めていただけるような作品にしました。

佳作



ネックレス /K18/ダイヤモンド/(七宝)

中村明日美 デザイナー/製作者

Nakamura Asumi

〔応募者〕 株式会社 ミキモト装身具

「リュウキュウアオイ」

モチーフはハート型の貝殻。波をイメージした曲線に形を変え、七宝で海を表現しました。全立体にすることで、透胎七宝独特の透過する色彩の魅力を最大限引き出せるよう工夫しています。私たちものづくりにいつも感動と絆を与えてくれる海と貝殻に感謝し、敬意を込めて制作しました。

入選
日本ジュエリーデザイナー協会会長賞



リング/K18YG・Pt900/オパール/サファイア/(七宝)

山本晋平

Yamamoto Shinpei

「重なり合う手」

重なる手をヒントに、オパールをつつむ様に、パーツを可動させ、手の温もりを七宝の色合いで表してみました。

入選



ピンキーリング/Pt900/ダイヤモンド

田上菜穂子 デザイナー/応募者

Tanoue Naoko

〔製作者〕 高瀬一彦

〔E-mail〕 naoko-t@primrose-jp.com

「Diamond “FUJI”」

日本が世界に誇る美しい富士山のジュエリーを通して日本人としての絆・つながり・愛を表現しました。



リング/Pt900・K18/ダイヤモンド

金子 綾 デザイナー

Kaneko Aya

〔製作者〕 岩崎裕司

〔応募者〕 株式会社 今与

「包容～家族の絆～」

立体感と羽の造形美の再現。太陽に輝く鳥の羽をモチーフにメインストーンのダイヤモンドを包み込む様にデザイン。



リング/Silver/ペリドット・トパーズ・アメシスト/タンザナイト・トルマリン・ガーネット

香本有希 デザイナー/製作者

Komoto Yuki

〔応募者〕 株式会社 ヤスエイ AFFLUX

「十人十色」

人それぞれのカラーで交わる、そしてつながる。そんな気持ちを表現してみました。



リング/silver

藤原真介 デザイナー/製作者

Fujiwara Shinsuke

〔応募者〕 株式会社 ヤスエイ AFFLUX

「たわむれ」

じゃれ合いながらもその繋がり of 強さを確かめたい。許される前提。そんな可愛い想いを形にしました。

入選



リング・タイホルダーセット/K18WG・K14WG

福島行成 デザイナー

Fukushima Yukinari

〔製作者〕 有限会社 ブランドール

〔応募者〕 創作ジュエリーフック

「つながり愛」

トカゲの赤ちゃんのリングは、その命を終え、骨のタイホルダーになりました。小さな命の繋がりに愛の眼差しを。



ブローチ＊ペンダント/K18WG/サファイア

伊藤 巧 デザイナー

Ito Takumi

〔製作者〕 株式会社 山田商店

〔応募者〕 株式会社 居東屋

「満々と咲くハナミヅキの美しさ」

花の美しさ、やさしさを表現に大変工夫した。ソフトな仕上又花びらの先端にミステリーセッティングのサファイアの石止が光っている。全体のアンバランスがこの作品に力を入れたもの。



第 3 部門

新人部門

新人大賞



武井真澄

Takei Masumi

「オーロラのころろ」

オーロラをモチーフに制作しました。揺れ動く人の心と重ね合わせ、姿を変えゆくオーロラを美しいと感じるように、人の心もどんな姿をしても変わらない美しさを持っているという事を表現しています。

1989年 東京都生まれ
2012年 日本ジュエリーアート展 入選
JJA ジュエリーデザインアワード2012 入選
2013年 東京芸術大学美術学部工芸科卒業
東京芸術大学大学院美術研究科彫金専攻入学



ネックレス・バングル・リングセット/Silver

新人優秀賞



リング/Silver/キュービックジルコニア



大城かん奈

Oshiro Kanna

「Ray of light」

漫画やアニメーションで使われる効果線をモチーフに、人体と2次元表現の融合を試みました。第一関節に装着するリングとして設計し、指先から光線が広がっていくイメージを具現化しました。

1985年 静岡県生まれ
2011年 山梨県立宝石美術専門学校入学
2012年 Koo-fu Collection2013 出品



冠＊ネックレス/Cu・Silver



加藤一初

Kato Ichika

「anthologia」

花を集めて花冠を作るように、綺麗な形を集め、それらを組み合わせることのできる新たな形の面白さを頭を飾る冠／ネックレスとして表現しました。花がまとまって一斉に咲く様子から思案し、薄い板状の金属を折り曲げてできる曲面や形状の美しさ、またその形が維持されるという特性を考えながら制作しました。

1989年 東京都生まれ
2012年 日本ジュエリーアート展 入選
2013年 東京芸術大学美術学部工芸科彫金専攻 卒業
東京芸術大学大学院美術学部美術研究科彫金専攻 在籍中

新人優秀賞



ブローチシリーズ/鉄・ステンレススティール/(金箔) (銀箔) (銅箔)



柳澤翔子

Yanagisawa Shoko

「GAME」

「カードをめくるときのドキドキをアクセサリーでも味わう」をコンセプトに裏面を作りこんだブローチ。着用した時にめくれた部分から裏面が少しのぞくようになっており、気づいた人に思わずブローチを外して見せたいようなデザインにしました。

2008年 日本女子大学 卒業
専門学校ヒコみづのジュエリーカレッジ 在籍

入選



リングシリーズ/R18/シトリン・アメシスト・トパーズ/パンドラ・アイオライト・トルマリン・タンザナイト・サファイア・ルバイト・ガーネット・ルビー

吉川 卓

Yoshikawa Suguru

[E-mail] spkv3c89@air.ocn.ne.jp

「Structure」

天然の宝石が本来持っている色。そこにこだわり少しずつ石を集めて、ひとつの形に集約しました。



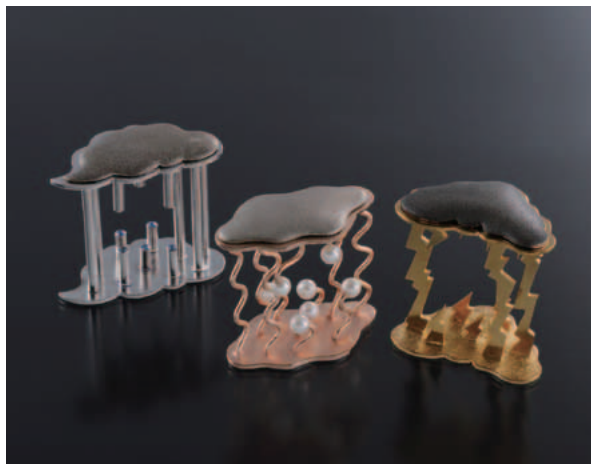
リングシリーズ/Silver/トルマリン・アメシスト・水晶

長澤知美

Nagasawa Tomomi

「惑星」

太陽系の惑星をテーマにして4つの惑星をデザインしました。地金の色の違いは星の生命力を表現しています。



リングシリーズ/Silver/キュービックジルコニア/アコヤ真珠/(四分一)

田代聖晃

Tashiro Kiyooki

[E-mail] xyz.kiyo@gmail.com

「fee-ring」

視覚からだけではなく触覚からもデザインが伝わるように、盲目の方でも楽しめるジュエリー。そんなジュエリーを考える人が増えるきっかけになればと考案した作品です。



ネックレス/真鍮

岡部恵子

Okabe Keiko

「SEKAI (セカイ)」

互いに擦れ、傷つけ合っていても世界はひとつに繋がっている。

入選



リング/Ag925

外戸大輔

Gaito Daisuke

[E-mail] odc.silveraccessory@gmail.com

「生命環、幸せを身につける」

「生命力、躍動感、ささやかな幸せ」が着想の発端です。美しく自然なラインを意識し、葉の一枚一枚から作りこみました。



リング/Silver・鉄/キュービックジルコニア/ルビー

要 由記子

Kaname Yukiko

「侵蝕」

美しいはずの世界、地球が蝕まれていく様。無関心への警告。



ネックレス・イヤーフックセット/Ag925/淡水真珠/大理石

竹川麻衣子

Takekawa Maiko

「あめのひ かたつむり」

うっそうと生い茂る小さい葉。空から雫が落ち続けている。かたつむり達は どこへ行くのだろうか？



マスク/真鍮/キュービックジルコニア/布

大橋実季

Ohashi Miki

「華」

「医療器具であるマスクをファッションの主役に」をテーマに、レースと地金全体で植物を表現しました。

● 一般社団法人 日本ジュエリー協会

● アワード実行委員会

● 実行委員長

梶 光夫

● 委 員

坂巻 章雄

高橋 博文

松井 久子

山本 真理

横山 裕

松崎 憲子

● 編 集

一般社団法人 日本ジュエリー協会 アワード実行委員会

● 撮 影

Studio A-Vipc

● 印 刷

山口北州印刷株式会社

● 発行日

2013年8月27日

● 発 行

一般社団法人 日本ジュエリー協会

〒110-8626 東京都台東区東上野2-23-25

TEL (03) 3835-8567 FAX (03) 3839-6599

<http://www.jja.ne.jp> E-mail: ja@jja.ne.jp

禁無断転載複写



一般社団法人日本ジュエリー協会

